

愛の木放課後等デイサービス

支援プログラム

作成日

令和7 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念		「将来、働く大人になるために」													
支援方針		卒業後の生活を見据え、必要となってくるであろう身辺自立や人との関わり方などに重点をおく。 関係機関との連携 保護者支援													
営業時間			9	時		00	分から		17	時		00	分まで	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・ 基本的な生活習慣の確立：十分な睡眠、バランスの取れた食事、生活リズムを整える。 ・ 身だしなみ：清潔感のある服装やTP0に応じた身だしなみを学び、社会で適切な印象を与えられる様支援を行う。 ・ ストレスマネジメント：深呼吸やクールダウンを促すことでストレスへの対処力を高める。													
	運動・感覚	・ 体力維持：特に長期休暇中にて戸外で元気に体を動かす活動を取り入れ健康的な体づくりをサポートする。 ・ 感覚統合の促進：苦手な感覚に少しずつ慣れる活動を通して日常生活の様々な場面に対してストレスを軽減できる様支援を行う。 ・ 協調運動の向上：リズム遊びや簡単な運動などを取り入れ、指示を聞きながら体を動かす・運動の調整力・タイミング・状況に応じて身体を使う力などを養う。													
	認知・行動	・ 問題解決能力の向上：状況を読み取る力や相手の感情を読み取る力を伸ばし、自分で（又は自分たちで）問題を解決出来る様サポートする。 ・ 見通しを立てて行動する力・自己管理能力の向上：目標の設定、それに向けて逆算して必要なステップを考え実行する経験を積む。 ・ 注意・集中力の強化：自身で目標を立てる・環境調整するなどして、意欲や集中して取り組む力を高める。 ・ 感情コントロール力向上：イライラした時の気持ちの整理や対処法（言語化、クールダウン、感情の置き換えなど）を学び冷静に対処する力を身に着ける。													
	言語 コミュニケーション	・ 適切な会話能力の習得：ことば使い・声の大きさ・スピードなど、社会的に必要な会話スキルを身につけられる様支援を行う。 ・ 相手の意図を汲み取る：着目点を伝える・言語化するなどして、表情やことばの使い方から相手の気持ちや意図をイメージ出来る様サポートする。 ・ 話す順序や伝え方の習得：相互のやり取り・要点を整理したり時系列で話をするなど、コミュニケーションが円滑に進む伝え方を学ぶ。 ・ 聞く力の向上：適切な相槌や質問の仕方を学び、相手の話を最後まで聞くこと、会話のキャッチボールが円滑に出来る様になることを目指す。													
	人間関係 社会性	・ 他者と協力する体験：共同作業やイベント企画を通じて協力する力を養う。役割分担や意見調整などのスキルを身につけ、円滑な人間関係を構築出来る様支援する。 ・ マナー習得：敬語の使い方、適切な距離感、状況に応じたコミュニケーションの取り方を学ぶ。社会での適応力に繋げる。 ・ 自己表現力を高める：相手に伝わりやすい話し方や表現方法を学ぶ。自己主張と協調のバランスを取りながら円滑なコミュニケーションが出来る様支援する。 ・ トラブル時の対処法の習得：相手の意見を尊重しつつ自分の気持ちを伝える方法や解決に向けた話し合いの進め方を身につけ健全な人間関係を築く力を養う。													
家族支援		・ 家庭でのコミュニケーション支援：子どもの成長を促す為の環境づくりや適切な関わり方についてアドバイスを行う。 ・ 生活習慣のサポート：時間管理や身だしなみなど、家庭でも取り組める習慣づけの方法を提案する。 ・ 就労を見据えた情報提供：将来の進路や就労に関する情報を提供。家庭でのサポートの方向性を明確にする。							移行支援		・ 社会参加活動：特に長期休暇中の活動を通して地域の企業や公共の施設を体験、様々な分野に対する興味関心を高める機会を作る。 ・ マナーやスキルの習得：挨拶や姿勢・態度など、将来的に働く上で必要な基本的コミュニケーションスキルを学ぶ。 ・ 自己理解の支援：自身の興味関心、適正に客観的に目を向け、将来的に自分に合った働き方や職業選択が出来る力に繋げる。				
地域支援・地域連携		・ 特に長期休暇中の活動を通して職場見学や地域イベントへの参加する機会を増やし、社会性や協調性を育む。 ・ 関係機関と情報共有し、子ども一人ひとりに合った支援を地域全体で行う。							職員の質の向上		・ 研修や勉強会の実施：定期的に行い専門性を高める。 ・ ケース検討・振り返りの強化：職員間で事例を共有。効果的な対応策を日々考えていく。 ・ 地域や専門機関との連携強化：福祉・教育・企業など様々な分野と連携することで最新の支援方法を学び実践に活かせる様努める。				
主な行事等		職場見学・体験 企業見学 買い物体験 調理活動 公共交通機関の利用体験 イベント：夏祭り（企画・運営）、クリスマス会、餅つき、初詣、花見など													